



ご当地キャラ × 消防局 × IT 企業『チーム柏』が チカラを合わせた

公式ホームページ(特設サイト)で

# 命を救う さかサイ君の救命アプリ が完成！ 無料配信スタート

企画: さかサイ君プロジェクト(逆井商店会) 監修: 柏市消防局救急課(救急隊員が VTR にも出演協力)

アプリ開発: ルミテック(柏市中央町 5-21) ※市内小中学校向け デジタル副読本システムも手掛ける(創業 34 年)

これは、ご当地キャラが発信し救命処置(バイスタンダー)への理解(興味)につなげ

講習受講の契機づくりと復習機能により、正しい救命手順の会得(体得)につなげ

心肺蘇生(胸骨圧迫)の支援に特化し 緊急時の切迫した状況下においても直感で使用でき

るよう機能の厳選により 利用者の『安心』につなげ 適切な処置サポートで、大切なひとの『命をつなげる』

ことを目的とした『さかサイ君の救命講習 復習アプリ』です。 ※【実践モード】心肺蘇生サポート機能付



**学習モード**  
救命手順が確認できます

- 更新情報 など
- アプリ起動時からの経過時間
- 119番 通報画面へ
- 現在地を表示 (屋外での通報用)
- 救急隊員による救命手順 VTR
- 胸骨圧迫リズム開始(CPR メトロノーム)

**実践モード**  
胸骨圧迫に特化した機能

アプリ起動画面  
**大人・子ども・乳幼児**  
対応した動画がループ再生されます

大人 子ども 乳幼児

胸骨圧迫リズム開始(CPR メトロノーム)

↑ 救命手順が学べる『学習モード』

胸骨圧迫法のサポートに特化した『実践モード』 ↑

全国初！ご当地キャラが『現場の声』をもとに『チーム柏』でつくった 救命アプリの★ポイント と これから

『緊急時は圧迫リズムが早くなりがち』『腰が引けていて正しく力が伝わってなかった事案が多くあった』との救急隊員の声から ★現役救急隊員による複数アングルから撮影した実写 VTR をループ再生する機能を実装

『人数の少ない夜間に急変対応が多い(介護士)』『講習を受けていても緊急時は動けないもの(福祉職)』『PC やタブレットで利用者管理をしている(施設職員)』等、現場の声から ★PC やタブレットでもブラウザで利用可能。また、救命対象者 <大人・子ども・乳幼児> に対応することで 介護、教育、保育の現場でも活用できます。

どの地域でも利用できるよう“さかサイ”以外、特定の地域名を使用せず、アプリ内の救命講習案内は 近隣地域の消防局 HP とリンクしています。今後、市内外の多様な現場で活用してもらえるよう進化改良に努めて参ります。

【アプリ特設サイト】公式ホームページ <https://www.sakasaikun.com/appli>

解説動画 QR→



令和6年5月23日 柏市役所 記者クラブへ 情報提供しました。

私たちが、つなげたい こと

## 『3つの“つなげる”で 命をつなぐ』

**興味**につなげる ～ご当地キャラクターからの発信(アプローチ)で、より多くの興味関心を惹く～

小学生からタブレットや PC を活用する昨今、未就学児も親御さんの携帯端末を器用に扱う姿をよく目にします。ゆるキャラ(さかサイ君)をアイキャッチにすることでまず、お子さんに興味を持ってもらう。子供が興味あることに親も関心を持つもの。『救命のこと』を家族で考える契機につなげたいと考えます。

**体得**につなげる ～あえて 救命講習 “復習” アプリ にしたワケ～

興味関心を持ち『救命』(救命の連鎖やバイスタンダー)を知り理解することで正しい知識や技術を学びたくなる向学心(学習意欲)を高め、受講への契機につなげる実際の救命講習を経験していただくこと、いつでもアプリで救命手順を復習できることはいざというときの冷静な対応につながると考えます。

**安心**につなげる ～もしものときの心の支えになるアプリに～

日常に多く存在する心停止。救急搬送された心臓に起因する傷病者は 82000 件(令和3年度)どこで心肺停止に遭遇してもおかしくありません、それが、大切な家族かもしれません。もしもの時に備えておくことは、とても意義のある、大切なことです。このサポートアプリが、救命活動をするうえで、不安な気持ちや焦りを少しでも緩和し安心につながる “おまもり” のような 防災(サイ) ツール になれば幸いです。



商店会員へ受講推進と受講証の発行



逆井駅徒歩1分『サイ君のミニ公園』広報看板



← 配布用 B5 フライヤー

現在、商店会員店舗さま や 藤心地域ふるさと協議会(逆井/藤心地域 13 町会・自治会)さま 消防局さま『定期救命講習会』にて 配布周知のご協力をいただいています。

多くの方に知ってもらい、救命の連鎖をつなぐ一助にして行きたいと考えます

記事掲載・報道等について 格段のお取り計らいをお願い申し上げます。